

# 校長室より

平成28年4月15日

## 着任のご挨拶

このたび、県立博物館から校長として着任いたしました。どうぞよろしくお願いたします。荒砥高校には、平成20年度と21年度の2年間お世話になり、また荒砥高校に勤務できますこと、大変喜んでいるところです。

白鷹町は置賜地区のなかでも雪が少なく、山形県の「母なる川、最上川」が流れる自然豊かな地であり、国指定文化財の「観音寺観音堂」、県指定無形文化財「深山和紙」など優れた文化財があります。着任いたしまして、「深山和紙」に「紅花」の入った立派な名刺を作っていただきました。多くの方々に名刺をお配りし、荒砥高校を知っていただきたいと思っております。また、稲荷台の桜が美しく咲いてきましたので、「釜の越サクラ」などの「古典桜」を見てみたいと思っております。

地域の皆様方には、荒砥高校の教育活動に対してご理解をいただき、多大なご支援をいただいているとお聞きしています。生徒がボランティア活動や地域貢献活動などを通して、地域を理解すると共に、優れたこの地の自然と文化の継承者となり、地域に貢献する人材を育てていかなければならないと考えています。

地域と連携した魅力ある学校づくりに全力を尽くして参りますので、何卒よろしくお願いたします。